



京都 在宅医療

検索

※今後の研修会開催予定一覧です。演題名等詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

■ 総合診療力向上講座 (Web 開催) 対象：医師

日時	講師・テーマ	申込開始日
令和6年2月17日(土) 14:30~16:00	京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学 教授 加藤 則人氏 テーマ「 コモンな皮膚疾患の診断と治療 」	令和6年 1月5日

■ 京都在宅医療塾 実践編 対象：医師 場所：京都府医師会館3階 310会議室

日時	講師・テーマ	申込開始日
令和6年2月7日(水) 14:30~16:30	洛和会音羽病院 院長補佐 総合内科 部長 洛和会音羽病院教育センター センター長 まつだ在宅クリニック 院長 谷口 洋貴氏 松田 かがみ氏 テーマ「 在宅で心臓疾患の患者さんをポケットエコーで診断してみよう！ ~POCUSの概念を利用して~ 」	令和6年 1月5日

■ 認知症サポート医フォローアップ研修 対象：医師・多職種

場所：京都府医師会館3階 310会議室と Web のハイブリッド開催

日時	講師	申込開始(予定)
令和6年3月9日(土) 15:30~17:00	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学(脳神経内科) 准教授 診療副科長 葛谷 聡氏 テーマ「 調整中 」	令和6年 2月1日

申込締切	講師・テーマ・対象	申込フォーム
令和6年2月14日(水) 正午申込締切 動画は 配信期間：令和6年2月14日(水) 23:59まで	御所西ひらはらクリニック 院長 平原 直樹氏 テーマ「 日常診療で遭遇する泌尿器科疾患 ~日常でいろいろあります泌尿器科~ 」 対象：医師	
令和6年3月15日(金) 正午申込締切 動画は 配信期間：令和6年3月15日(金) 23:59まで	東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長 地域連携型認知症疾患医療センター長 日本エンドオブライフケア学会 副理事長 平原 佐斗司氏 テーマ「 在宅での栄養マネジメント ~疾患別、ステージ別に考える~ 」 対象：医師・多職種	
令和6年4月5日(金) 正午申込締切 動画は 配信期間：令和6年4月5日(金) 23:59まで	京都府医師会 理事・医療法人同仁会(社団) 介護事業部 事業部長統括医師・ 医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 精神科・心療内科・ 京都市唐橋地域包括支援センター センター長 西村 幸秀氏 テーマ「 在宅生活を支えるための意思決定支援 ~認知機能検査・成年後見制度・多職種協働~ 」 対象：医師・多職種	

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.49

2024年1月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Menu

- ◆第2回京都在宅医療塾 探究編 開催報告 (P.1)
- ◆地域包括ケア「府民公開講座」開催報告 (P.2)
- ◆【特集】在宅療養あんしん病院登録システム~かかりつけ医機能をバックアップ!~ (P.3)
- ◆令和5年度 研修会予定のご案内 (P.4) ◆令和5年度 オンデマンド配信一覧 (P.4)

第2回京都在宅医療塾 探究編 開催報告

オンデマンド配信中!

配信期間：令和6年4月5日(金)23:59まで

右記画像から
お申込み受付中



令和5年10月28日(土) 京都府医師会 理事・医療法人同仁会(社団) 介護事業部 事業部長統括医師・
医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 精神科・心療内科・京都市唐橋地域包括支援センター センター長
西村 幸秀氏を講師に迎え「在宅生活を支えるための意思決定支援~認知機能検査・成年後見制度・多職種
協働~」と題した研修会を開催しました。医師91名、多職種48名にご参加いただきました。



西村 幸秀氏

研修会の内容は

- 身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン
 1. ガイドラインの背景・目的
 2. ガイドラインの基本的な考え方
 3. 医療機関における身寄りがない人への具体的な対応
 4. 医療に係る意思決定が困難な場合に求められること
- 新・京都市オレンジプランの第3次改定について ●京都における認知症医療の支援体制
- 成年後見制度における診断書の書式の改定→ 成年後見制度における診断書の記入方法や診断書の書式の改定、本人情報シートの書式の作成などについて詳しくお話ししていただきました。

● 受講者の声 ● ~受講後アンケートより抜粋~

【医師】

- 後見人制度における診断書の作成について理解出来ました。
- 診断書類の具体例が提示され、大変参考になりました。
- 成年後見制度のことや主治医意見書など勉強になりました。
- 地域包括ケア病棟に勤務しています。我々が専門領域として獲得すべき内容を端的に教えていただきました。
- 家庭裁判所の事、後見人の事について理解が深まりました。

【多職種】

- 具体的な診断書の内容やポイントを教えてもらう機会が今まで無かったので興味深かった。相談員として求められる役割や情報共有のポイントを意識して多職種連携を行っていきたい。(社会福祉士)
- 今まさに補佐人さんに入っていた方がおり、申し込みを進めていっているところで勉強になりました。(看護師)
- 診断書の具体的な内容が分かりやすく、理解しやすかったです。後見人制度について理解を深めることができました。(看護師)

◆ 主治医研修会のお知らせ ◆ 上記研修会のテーマのひとつ「成年後見制度」についてのシンポジウムです。

令和6年2月24日(土) Web で開催する主治医研修会では、成年後見制度の概要や診断書の記載上の留意点等を京都家庭裁判所後見センターよりご講演いただくとともに、制度の運用上の課題などに関する多職種のシンポジウムを行います。是非ご参加ください。※詳細は、京都医報1月15日号介護保険ニュースをご覧ください。

【日時】 令和6年2月24日(土) 午後2時~午後5時(予定)	【講師】 ①② 京都家庭裁判所後見センター 主任書記官 ③ 京都府医師会 理事	藤原 元治氏 市田 哲郎氏
【内容】 主治医意見書及び成年後見人制度における診断書の記載について ①講演 ②シンポジウム ③主治医意見書の記載について	公益財団法人 京都府介護支援専門員会 監事 上林里佳社会福祉事務所 ②③ 京都府医師会 理事	井上 基氏 上林 里佳氏 西村 幸秀氏

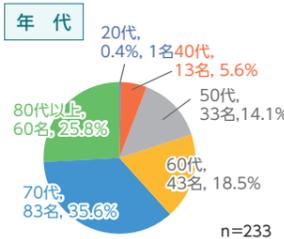
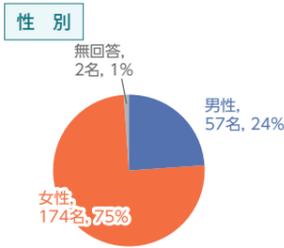
地域包括ケア「府民公開講座」 開催報告



おおい町国民健康保険
名田庄診療所 所長
中村 伸一氏

令和5年12月3日(日)、京都府・京都地域包括ケア推進機構・京都府訪問看護ステーション協議会・京都府医師会による共催で、府民公開講座を開催し、府医会館とWeb配信のハイブリッド方式で、計347名の方にご参加いただきました。

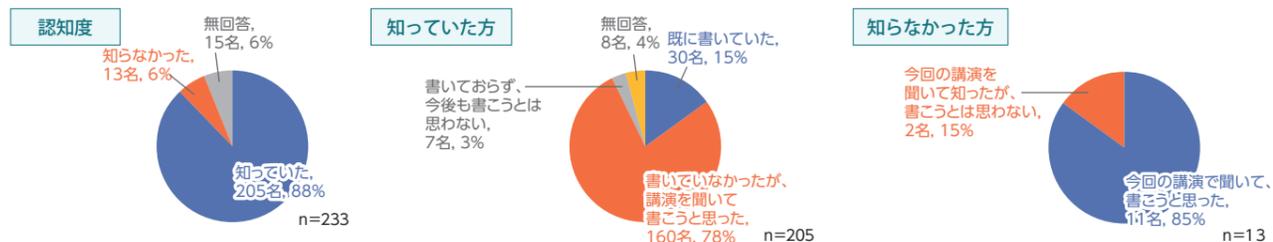
第1部 (15分)	京都の看取りのひとこま ～かかりつけ患者さんを 訪問看護師とともに～	角水医院 院長 角水 正道 氏 訪問看護ステーションふれあい 訪問看護師 金森 千絵子 氏
第2部 (90分)	元気な今だからこそ始めよう! サヨナラの準備 ～エンディングノートのすすめ～	おおい町国民健康保険 名田庄診療所 所長 中村 伸一 氏



講演全体の感想から

- 泣き笑いでした！と～ってもすてきな講演でこれから先の生き方に道しるべを頂きました。(70代女性)
- 人生の終い支度を考えさせられるよい機会になりました。(40代男性)
- いつかは訪れるであろう自分の最期のことを考える機会となりました。(70代女性)
- 人の余命に順番はありませんものの、自分が最後に残った時のことを考えておかなければならないと思ながら、何をどう準備すればよいのか相談先もわからず見当がついていませんが、家族2名の看取りと自分の仕舞い支度を始める上で何かヒントをいただいたような気がします。(50代女性)
- 訪問看護師さんの大切さを再認識しました。第1部感想より(50代女性)

エンディングノートについて



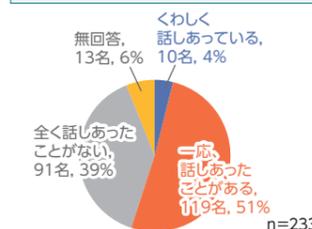
エンディングノートに関するご意見

- 私らしいエンディングノートを早速書こうと思っています。(70代女性)
- エンディングノートを明るい気持ちで書けそう。(70代女性)
- エンディングノートの記載の前に気持ちの整理が必要。(70代男性)
- エンディングノートは最後のメッセージとして大切だと思いますが、書く時期が難しい。(80代以上女性)
- エンディングノートは途中で最後のぎりぎりまで鉛筆で書き、いよいよになったらペンで書いていこうと思います。(70代女性)
- 延命治療についての希望を具体的に書き残す必要を感じた。(50代女性)
- エンディングノートがあれば自分も人生最期に向き合えて、家族にも自分の意見が言えるんじゃないでしょうか。子供たちからの提案って、良い提案でも何か腹が立ちますよね。私ももう少ししたらエンディングノート書きます。(50代女性)

本日の講演で最も印象に残ったもの

- 人生の最終段階への準備の大切さ。普段からのかかりつけ医を含めた地域との関わりが大切だと感じました。(40代男性)
- 何となく延命治療は不要と考えていたが、いざ点滴から蘇生まで細かく問われると、考え込んでしまいました。改めて問題の難しさを実感できました。(60代男性)
- 中村先生のお話を聞いて、予後半年と聞いてからは遅いこと、身近な人に感謝の気持ちを伝えておきたいと思えました。中村先生のトークで笑った分だけ頭に残っているので、ジメジメしたところなしに聞けた。(80代以上男性)

ご自身の死が近い場合に受けたい医療行為や受けたくない医療行為について、ご家族とのくらしい話あったことがありますか。



- 幸せに生きて逝くために必要で大切なこと、感謝、絆、愛情をたっぷり、覚悟を持って残り生きていきます。(70代女性)
- 健康の定義：自分が大事に丁寧に優しく接していく事が、将来自分が認知症になった時などに自分に返ってくる。(50代女性)

京都府医師会事務局より

大勢の府民の方にご参加いただき、ありがとうございました。講演全体を通して、講師の先生のお話がわかりやすく、訪問診療、訪問看護について理解できた、また健康の定義や家族のこと、延命治療のことなど考える機会となったというご意見が多く寄せられました。エンディングノートについては、知っていたが、既に書いていた人は少なかったのですが、「今回の講演を聞いて書こうと思った」と多くの方が回答してくださいました。今後も住み慣れた地域で「最期まで自分らしく生きる」という、一人ひとりが人生の最終段階について考えるきっかけとなるような府民公開講座を開催していきたいと考えております。

特集

在宅療養あんしん病院登録システム



かかりつけ医機能をバックアップ!

申込の流れ

- 患者本人と、かかりつけ医とで在宅療養について相談する
- 登録希望病院を患者本人、かかりつけ医と相談の上、病院一覧から選んでもらう
- 【Web申請】もしくは【紙による申請】

この制度の詳細はVol.47
電子申請の詳細はVol.48を
ご参照ください

これまで本誌では「在宅療養あんしん病院登録システム」の内容や登録方法をご紹介いたしました。本誌で紹介後、かかりつけ医による登録数が、例年よりも倍増しておりました。登録していただいた皆様、誠にありがとうございました。

かかりつけ医が「あんしん病院」を活用された事例

ある日の訪問診療で…
先生、妻がいつもと様子が違うんです。
いつもと様子が違いますね、ちょっと熱を測りましょうか。
Rさんの夫 (90歳)
Rさん (90歳)
37.5度…微熱です。検査がいるかなあ…
先生、私なるべく家にありたいけど…熱もあるしんどいし…
Rさんは「あんしん病院」に「S病院」に登録してましたよね？電話してみましょうか。
S病院なら前にもお世話になったし安心か…
先生、私なるべく家にありたいけど…熱もあるしんどいし…
3日後… Rさんは自宅に戻ることができました
先生が登録してくれていたのととても良かったです。こういう時に、とても安心して便利なシステムですね。
あんしん病院なら「早期の段階」で病院に相談できるから、かかりつけ医にも患者さんにもメリットがあるね。
S病院
Rさん！前も早く家に帰りたとおっしゃってましたよね。
分かりました！入院していただいて早期退院を目指します
家にいたいみたいですが検査入院をお願いしますか…
S病院の地域連携で、あんしん病院に登録しているRさんですが…
様子が少しおかしくて…
先生、私なるべく家にありたいけど…熱もあるしんどいし…

「あんしん病院」に登録していたことで、「患者さんの様子が何か変だな」という段階で病院へ相談し、入院できたケースでした。早期入院、早期治療、早期退院に繋がりが、「家にいたい」という患者さんの思いにも対応することができました。

かかりつけ医として多くの役割が求められる中、「あんしん病院登録システム」で予め病院を登録する事で、患者さんへのより良い支援に繋がります。登録に費用はかかりませんので、是非ご登録ください。

かかりつけ医

「患者さんの様子がいつもと違う、何かおかしい」と思った時点で、病院に気軽に相談できる。

患者さん

「しんどい」と不安に思った時、かかりつけ医に相談すると、入院の可否の判断などについて、対応してもらえる。

あんしん病院

事前に患者情報(ケアマネジャーや介護サービスの利用状況など)がわかることで入院後の治療方針や在宅移行のプランを立てることができ、大変有効。

登録申請書の入手方法・問い合わせ先

※あんしん病院への登録申請書が必要な時や、ご不明点は下記までご連絡ください。

京都地域包括ケア推進機構

〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京
東桐尾町6番地 京都府医師会館703

TEL:075-803-1037

(在宅療養あんしん病院登録システム
担当直通)

FAX:075-822-3574

